

EHIME DIGITAL TRAINING LAB(愛媛県DX推進リーダー育成研修) メンバー募集要項

1 目的

新型コロナウイルス感染症対応において、デジタル化の遅れなど社会が抱える構造的な課題が浮き彫りとなり、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のDXが求められる中、官民それぞれの所属機関において、DX推進リーダーとして、デジタル技術を効果的に活用し、課題解決や価値創造に資する企画等を立案・実行できるデジタル人材の育成を目的とします。

2 EHIME DIGITAL TRAINING LABとは？

EHIME DIGITAL TRAINING LABでは、業種・職種・肩書きに関わらず、それぞれの所属機関において、DXを推進していく県・市町職員、民間事業者のメンバーが、約8ヶ月にわたって、ラボの運営スタッフや講師の伴走支援のもと、動画学習での知識の習得や演習(課題)、メンバーとのオンラインディスカッションに取り組みながら、企画の作成やブラッシュアップを繰り返し行うとともに、職場での一部実践を行うことで、DX推進リーダーに必要な「知識」、「実践力」、そして「デジタルツールの活用力」を習得していく実践型のスクールコミュニティです。

研修期間中は、ただ研修を受講するだけではなく、デジタルツールによるオンラインコミュニケーションを活用し、ラボメンバー同士で横のつながりを強く築くことで、修了後も組織を超えた共創やDXのけん引につながることを目指します。

3 主催

愛媛県(デジタルシフト推進課)

4 業務委託事業者

株式会社テックアイエス

5 期間

令和4年7月～令和5年2月

6 形式

動画学習(Youtube)とオンライン会議システム(Zoom)の活用を基本に、平日の日中に実施
※Zoomでの研修を受講するための環境(会議室、インターネット環境など)がない場合は、
テックアイエスコワーキング(松山市湊町4丁目6番地12 池田ビル)を利用可能です。

7 対象者

県内に本拠を置く企業にお勤めで、次に掲げる事項に意欲的な方

- ・受け身ではなく、主体的な研修参加を行える方
- ・課題解決や価値創造のため、デジタルがどう活用できるか学びたい方
- ・体系的にDXを学び、自身の業務に活かしたい方
- ・一人ではなく、仲間と一緒に愛媛を盛り上げたい方
- ・自分、そして愛媛をアップデートしたい方

※業種や法人・個人の別は問いません。

8 受講料

無料

9 定員

30～40名程度

〔・県職員：20名程度〕 ➡ 民間事業者を含む80名程度の受講を全体定員枠とし、
〔・市町職員：20名程度〕 応募状況を踏まえ、総合的に受講者を調整します。

10 募集枠(目安)

区分	募集人数	備考
行政職員		
(1)継続受講枠 (令和3年度愛媛県DX推進リーダー育成研修受講者)		
①県庁職員	10名	
②市町職員	10名	
(2)新規受講枠		
①県庁職員	10名	
②市町職員	10名	
民間事業者		
(1)継続受講枠 (令和3年度愛媛県DX推進リーダー育成研修受講者)	10企業 (20名程度)	※1企業2名の 参加を推奨
(2)新規受講枠	10企業 (20名程度)	

※本研修では、組織内・部署内におけるDXの推進が円滑になるよう、民間企業の皆様には2名(バディ制)での受講を推奨しています。(同一部署の同僚や上司と部下のペアを想定。)動画研修はどちらも受講を必須としますが、オンラインワークやリアルワークの参加はどちらか一方で構いません。
応募人数が多い場合、2名でご応募いただいた企業を優先させていただきます。

11 研修内容

オンラインワークショップ①～④を中心に、随時、リアル会場や動画での講座を予定しています。やむを得ず日程やコンテンツ内容を変更する場合は、ご了承ください。

研修名	日時	会場	内容
動画学習講座①	7月下旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴	デザインシンキングの考え方と3つのDX解説講座 ～EHIME DXの基礎的な考え方について～
動画学習講座②	7月下旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴	DX企画作成シート作成講座 ～事業変革のためのDX企画の作り方～
動画学習講座③	7月下旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴	課題解決・価値創出のためのマイクロUX(企画)とマクロUX(プロジェクト)作成シート解説

動画学習講座④	7月下旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴	事例解説講座1 『事例解説「行政のDX編」～AIやRPAなどを活用したデジタル行政改革徹底解説講座！職員本意のDXはこれで実現する！～』
動画学習講座⑤	7月下旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴	事例解説講座2 『事例解説「暮らしのDX、産業のDX編」～LINE・ロボティクス・VR・NFTなど、デジタル基礎からトレンドテクノロジーまで完全網羅！住民をハッピーにし、産業が潤うデジタル活用はこれだ！～』
オリエンテーション・ 交流会	8月9日(火) 13:30～16:00	テックアイエス コワーキング (松山市内)	・本研修の概要、今後の流れの説明 ・デザイン思考WS「愛媛SFプロトタイピング」
モデレーター研修	8月中旬～ 8月下旬	オンラインで 各自視聴 (任意)	オンラインワークショップでディスカッションを行う際の モデレーター研修
オンライン ワークショップ①	9月2日(金) 13:30～16:30	Zoom (リアルタイム)	各自の業務関係者(対象者や職場の同僚など)への ヒアリング結果を基に、グループ内で業務の問題点 や課題についてディスカッション
オンライン ワークショップ②	10月7日(金) 13:30～16:30	Zoom (リアルタイム)	自分が作成した所属内の企画書シートを基に、グル ープ内で発表やディスカッション
実践振り返り・ 中間交流会	10月28日(金) 15:00～17:00	テックアイエス コワーキング (松山市内)	・オンラインワークショップ①②の進捗報告や結果 などの共有 ・グループワーク
動画学習講座⑥	10月中旬～ 11月中旬	オンラインで 各自視聴	チーム学習方法解説講座
動画学習講座⑦	10月中旬～ 11月中旬	オンラインで 各自視聴	チームプロジェクト作成解説講座
オンライン ワークショップ③	11月16日(水) 13:30～16:30	Zoom (リアルタイム)	チームに分かれてプロジェクト創出
オンライン ワークショップ④	1月11日(水) 13:30～16:30	Zoom (リアルタイム)	チームに分かれてプロジェクト創出
プロジェクト発表会	2月10日(金) 13:30～16:30	テックアイエス コワーキング (松山市内)	チームで創出したプロジェクトの発表

※上記の研修のほか、広報のプロから「デジタル広報(SNSやブログメディアなどを通じた広報戦略・ライティングなど)」を学ぶことができる追加プログラムも用意しています。
ご興味がある方は申込フォームの選択項目にチェックしてください。

12 使用予定のデジタルツールや環境等

当研修では、実施にあたり次のツールや環境等を使用する予定です。

〈必須〉

- Zoom(オンライン会議)
- Slack(チャットサポート)
- YouTube(動画学習)
- Google jam board(オンラインワークショップ)
- Googleスライド(課題提出)
- Googleスプレッドシート(課題提出)
- Googleドライブ(課題提出)

次のツールについては、希望者のみ使用を予定しています。

〈任意〉

- muute(思考と感情を分析してフィードバックをくれるAIジャーナリング・アプリ)
- eight(取り込んだ名刺からプロフィールを作成しキャリア形成に活用できるキャリアプロフィールアプリ)
- VRデバイス(VR会議/VR体験)
- Notion

13 申込手続き

(1) 申込受付期間

令和4年7月8日(金) 17:00必着

(2) 申込方法

下記フォームから必要事項を御記入の上、お申込みください。なお、平日日中の時間帯での受講が基本となることから、各所属の了解を得るようにお願いします。

▶<https://logoform.jp/form/XG6n/106583>

14 受講者の決定及び通知

申込受付期間終了後、令和4年7月15日(金)までに、受講可否についてメールで通知します。期日を過ぎても通知が届かない場合は、下記の間合せ先まで照会してください。

また、応募者多数の場合には、申込フォームの記載内容をもとに、「実現可能性や具体性」「取り組みの緊急性」等を総合的に評価の上、受講者を選考・決定します。

なお、選考内容に関する公表は行わないこと、選考結果についての異議申し立ては認めないこととします。

15 問合せ先

愛媛県 企画振興部 デジタル戦略局 デジタルシフト推進課

担当：企画グループ 萩原、重松(莉)

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2

電話：089-912-2281 E-mail：digitalshiftsuishin@pref.ehime.lg.jp

【研修全体スケジュール】

時期	動画学習	オンラインワーク	リアルワーク	交流会	課題
7月	上旬				
	中旬				
	下旬				
8月	上旬	①～⑤		①オリエンテーション	キックオフ ①までに、各自の課題解決を行いたい業務の関係者(対象者や職場の同僚など)にヒアリングを行い、問題点・課題を整理する。
	中旬		モデレーター研修(任意)		
	下旬				
9月	上旬		①課題提起グループディスカッション(グループランダム)		①の結果を踏まえ、企画書を作成(Slackで講師や受講生のアドバイスをもらう)
	中旬				
	下旬				
10月	上旬		②企画書発表・グループディスカッション(グループランダム)		②の結果を踏まえて、再度ブラッシュアップを行い②までに職場で可能な範囲で実践若しくは企画提案してみる。
	中旬	⑥⑦			
	下旬		②実践振り返り	中間交流	
11月	上旬				
	中旬	③チームプロジェクト検討(グループ固定)			
	下旬				
12月	上旬				③で検討したテーマに沿って、各自が調査するとともに、Slackを使い、講師や受講生同士で意見交換する。
	中旬				
	下旬				
1月	上旬				③に向けた準備
	中旬	④チームプロジェクト検討(グループ固定)			
	下旬				
2月	上旬		③発表会	修了	
	中旬				
	下旬				

※課題を進める上での疑問点などがある場合、適宜Slack(チャットツール)でのチャットサポートを受けることができます。

【EHIME DIGITAL TRAINING LAB運営メンバープロフィール】

	<p>植松洋平 (EHIME DIGITAL TRAINING LAB所長) 1988年生まれ。愛媛県松山市出身。愛媛大学在学中に、自立した人材を育てることを目的に起業し、塾の経営を行う。その後、一般教養を教えるよりも、現在のニーズにあったスキルを獲得することが、より自立した人材の育成に貢献できると考え、株式会社テックアイエスに入社。プログラミング事業の責任者として事業を立ち上げ。2020年に取締役社長 JapanCOOに就任。</p>
	<p>榎本晋作 (プロジェクト統括・リーダー/DX人材育成教育プログラム開発責任者) 株式会社イーグッド 代表取締役/明星大学経営学部 非常勤講師 テックアイエスパートナー企業。「自己の未来社会を創り出せるヒトを創る」をテーマに活動する未来人材教育実践家。これまで企業・大学・行政のデジタルマーケティング、サイト制作をサポートしてきた経験をもとに「デジタル」「未来」「教育」をテーマに人材育成活動に従事している。 令和3年度本業務副統括、全体設計、第1,2回講座講師などを担当。</p>
	<p>吉野亜祐美 (コミュニティマネージャー・ファシリテーター) 2011年4月 松山市役所入庁。保健福祉部、環境部で事務職として勤務。 自らの子育て経験から「保育現場のDX」に興味を持ち、2021年1月に独立。 2021年9月 西予市を拠点に「一般社団法人 保育ICT推進協会」を設立し、主に保育現場向けに情報発信や研修事業を行う。 令和3年度本業務ファシリテーター。</p>
	<p>工藤良 (コミュニティマネージャー副統括) 九州工業大学卒業時に高等学校教諭一種免許(工業)取得。東京でのエンジニア経験を経てデロイトトーマツグループの有限責任監査法人トーマツにて西日本のシステム監査業務に携わる。 2020年11月に株式会社テックアイエスに転職し、プログラミング講師を始め、生徒のメンタルケアやプログラミングに関するイベント企画・運営等も幅広く経験している。</p>
	<p>麓大地 (ファシリテーター主任・プロジェクト創出リーダー) 東京都在住。これまで地域おこし協力隊・プログラミング講師を経験。大学では、地域創生について学び、卒業後は沖縄県久米島町にて、高校魅力化プロジェクトに参画。町営塾講師(地域おこし協力隊)として、行政や高校と連携を図りながら、高校生の受験指導・プロジェクト活動支援に取り組む。その後、プログラミングスクールにて、オンライン講師並びに現場管理業務に従事する経験をもつ。現在は、教育やまちづくりの領域にて、通信高校のワークショップや自治体のプロジェクト創出研修事業の企画運営にファシリテーターや運営サポーターとして関わる。 令和3年度本業務ファシリテーター・ディレクター。</p>
	<p>多葉田愛 (広報戦略マネージャー) 青山学院大学卒業後、国内外でまちづくりをプロデュースするUDS株式会社に入社。広報と新規旅行事業の立ち上げを経験後、独立。オーストラリア・メルボルンを拠点にワーキングホリデー×フリーランス生活を送る。帰国後2020年より旅を広める会社TABIPPOに入社し海外政府観光局や地方自治体に対するマーケティング支援を担当。パラレルキャリアとしてフリーランス活動を継続し、様々な企業の広報や企画のサポートを行う。</p>